令和8年度着手

県営 泉ヶ池地区 緊急防災等工事計画書

（　防災ダム事業　）

愛　知　県

目　　次

第１章　目　的　1
第２章　地域及び地積　1
第１節　地　域　1
第２節　地　積　1
第３章　現　況　2
第１節　気　象　2
1　一般気象　2
2　特殊気象　3
第２節　土地状況　4
1　地形、土壌及び浸食の程度　4
2　土地分類　5
3　土地利用の状況　5
第３節　水利状況　6
1　用水状況　6
2　排水状況　8
3　河川状況　8
第４節　道路概況　8
第５節　地域農業の概況　8
1　産業別就業人口　8
2　経営耕地広狭別農業経営体数　9
3　主要家畜頭数　9
4　主要作物作付状況　10
5　農業の動向　11
第６節　地域環境の概況　12
第４章　一般計画　13
第１節　事業計画の要旨　13
1　要　旨　13
2　事業別面積　13
第２節　営農計画及び土地利用計画　13
1　営農計画の概要　13
2　土地利用区分　13
3　作付け方式　14
4　生産計画　14
5　労働改善計画　14
6　級地別土地利用区分　14
7　土地配分計画　14
第３節　用水計画　14
第４節　排水計画　14
第５節　道路計画　14
第６節　農用地造成計画　14
第７節　洪水調整計画　14
第８節　干拓計画　14
第９節　農用地整備計画　14
第10節　老朽ため池改修計画　15
1　堤体補強計画　15
2　洪水吐改修計画　15
3　緊急放流施設新設計画　15

第５章　主要工事計画　15
第１節　用水施設　15
第２節　排水施設　15
第３節　道路及び索道　15
第４節　農用地造成　15
第５節　洪水調整施設　15
第６節　干拓施設　16
第７節　農用地整備施設　16
第８節　老朽ため池改修施設　16
1　貯水池　16
2　堤体補強施設　16
3　洪水吐　16
4　緊急放流施設（新設計画）　16
第６章　附帯工事計画　17
第７章　工事の着手及び完了の予定時期　17
第８章　環境との調和への配慮　17
第９章　管理の要領　18
第10章　換地計画の概要　18
第11章　事業費の総額及び内訳　18
第12章　効　用　19
第13章　関連する事業　19
第14章　現況・計画平面図　19
1　概要図　別添
2　計画平面図　別添
3　主要構造図　別添

第１章　目　　的

本ため池は、この地域のかんがい用ため池として重要な役割を果たしている。しかし、東海地震の地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に位置し、防災重点農業用ため池に指定されていることから、万が一決壊した場合には、農地、農業用施設、住宅及び公共施設等に洪水被害が生じる。東浦町営緊急農地防災事業・単独補助（老朽ため池整備事業）（昭和55年～昭和56年）にて余水吐及び堤体、県営老朽ため池等整備事業（平成8年～平成13年）にて、取水施設、余水吐及び堤体が、それぞれ改修されている。

耐震診断を行った結果、堤体の耐震性不足であることが確認された。また、豪雨時における洪水吐の排水能力が不足しており、緊急放流能力も有していない。このため、耐震及び豪雨対策を目的にした整備を行うことにより、ため池決壊による洪水被害を未然に防止する。

第２章　地域及び地積

第１節　地　　域

（第1表）

事　業　名	地　　域
防災ダム事業	知多郡　東浦町

第２節　地　　積

（令和7年1月現在）　（第2表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
防災ダム事業	知多郡 東浦町	4.6	－	－	－	－	4.6	東浦町都市計画図より 図上計測面積

第３章　現　　況

第１節　　気　　象

１　一般気象

（第3表-1）

観測所名	東海観測所 大府観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	平成3年～令和2年	4月～9月	10月～3月		
平 均 気 温 （ ℃ ）		22.8 ℃	9.9 ℃	16.4 ℃	
降　水　量	平　均(mm)	971.0 mm	530.0 mm	1501.0 mm	
	基準年(mm)	－	－	－	
降 水 日 数	平　均(日)	61日	43日	104日	
	基準年(日)	－	－	－	
根　雪　期　間		－月－日　～　－月－日		（ - 日間）	観測無し
無　霜　期　間		－月－日　～　－月－日		（ - 日間）	観測無し
最　多　風　向		NW	最大風速 （風　向）	18m/s SSE	最多風向発生時期　9月～5月 最大風速発生年月日　平成30年9月4日

観測期間は昭和51年からであるが、統計期間は平成3年度から令和2年度の30年間とする。

２　特殊気象

（第3表-2）

観測所名 東海観測所、大府観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備　考
観測期間 昭和51年 ～ 令和6年	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	492.0	平成12.9.11	1/703	243.0	昭和51.9.12	1/28	234.0	平成3.9.19	1/24	194.0	平成6.9.17	1/12	181.0	令和4.7.12	1/10	
最大時間雨量 (mm)	114.0	平成12.9.11	1/269	83.5	平成21.10.8	1/48	69.0	平成6.9.17	1/19	68.0	昭和62.9.25	1/18	59.0	平成2.9.18	1/10	
最大４時間雨量 (mm)	269.0	平成 12.9.11 17:00～	1/807	159.0	平成3.9.19 3:00～	1/40	149.0	平成6.9.17 17:00～	1/30	117.0	平成2.9.18 1:00～	1/11	109.0	昭和51.9.12 4:00～	1/8	平成11.9.14 20:00～ 5位と同雨量
最大連続雨量 (mm)	589.0	平成12.9.11 ～平成12.9.12	1/195	465.0	昭和51.9.7 ～昭和51.9.14	1/53	437.0	平成2.9.13 ～平成2.9.20	1/39	347.5	平成29.10.13 ～平成29.10.23	1/14	328.0	昭和57.7.24 ～昭和57.8.3	1/11	
最大連続干天日数 (日)	40	昭和61.1.5 ～昭和61.2.13	1/199	31	平成11.12.7 ～平成12.1.6	1/23	29	平成9.10.15 ～平成9.11.12	1/15	28	令和6.7.18 ～令和6.8.14	1/12	27	昭和51.12.30 ～昭和52.1.25	1/10	昭和58.11.25 ～12.21
														５位 と同雨量		平成7.11.28 ～12.24
																令和2.7.31 ～8.26

出典：公益財団法人愛知・豊川用水振興協会　　愛知県内の気象データ。

第２節　　土地状況

１　地形、土壌及び浸食の程度

（第4表-1-1）

事業名	地　　目	田						畑　・　その他								受益地標高(m)		備　考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 12° ～15°	8° ～15° 小計	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
防災ダム事業	面　積 (ha)	－	－	－	－	4.6	4.6	－	－	－	－	－	－	－	－	0.9	0.0	
	比　率 (%)	－	－	－	－	100	100	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

（第4表-1-2）

項　目 ＼ 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面　積(ha)			備　考
	土壌断面								堆積様式	母材	事　業　名			
	色	腐植	礫層	酸　化 沈殿物	土　性 表土 一層	土　性 下層土 二層	土　性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			防災ダム事業		計	
志籠谷統	黄褐色	なし	なし	なし	強粘質	強粘質	―	ｸﾞﾗｲ土壌粘土型	残積	非固結水成岩	4.6	―	4.6	
計											4.6	―	4.6	

２　土地分類

該当なし

３　土地利用の状況

（令和7年1月現在）　（第4表-3）

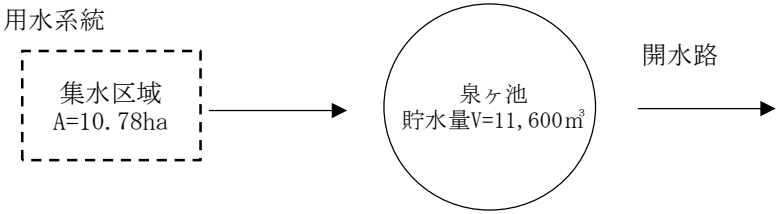
事業名	土地利用別 ＼ 市町村名	耕地						原野	山林	採草放牧地	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
防災ダム事業	知多郡東浦町	4.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4.6	

第３節　　水利状況

１　用水状況

泉ヶ池地区の用水は、泉ヶ池を水源とし、開水路により受益地にかんがいされている。

（１）用水系統



	面積(ha)
田	4.6
畑	―

（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第5表-1）

事業名	項目／施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備　　考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満										
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	㎥/s	箇所	㎥/s	箇所	㎥/s	
防災ダム事業	貯水池	－	－	－	－	1	4.6	1	4.6	－	－	－	－	1	0.010	
	井堰	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	自然取水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	－	－	－	－	1	4.6	1	4.6	－	－	－	－	1	0.010	

（イ）改修を要する施設一覧表　　（第5表-2）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
防災ダム事業	貯水池	泉ヶ池	4.6	傾斜遮水ゾーン型	堤高7.45m 堤長57.0m 貯水量 11,600m^3	平成8年度改修	堤体下流の耐震性不足 洪水吐の能力不足 緊急放流能力不足	
	井堰	－	－	－	－	－	－	
	自然取入口	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	
	用水路	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	
	計	1	4.6					

（３）用水に関する被害状況

該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況　　（第5表-3-3）

事業費	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
防災ダム事業	3.7	0.2	0.0	3.9	2,515	0	275,256	0	5,112,449	5,390,220	
合計	3.7	0.2	0.0	3.9	2,515	0	275,256	0	5,112,449	5,390,220	

２　排水状況

該当なし

３　河川状況

該当なし

第４節　　道路概況

泉ヶ池の東側には国道366号が南北方向に、西側には主要地方道東浦名古屋線が南北方向に延びている。

この幹線道路を中心に、受益地内に整備された市道及び農道が農作物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

第５節　　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第7表-1）

項目 / 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱供給水道業	運輸通信業	卸売小売飲食店業	金融保険業	教育業	医療・福祉	公務	その他	備考
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	
東浦町	24,112	451	0	9	1	1,364	8,167	104	1,563	4,287	351	863	2,776	538	3,638	
比率(%)	100.0	1.9	0.0	0.0	0.0	5.7	33.9	0.4	6.5	17.8	1.5	3.5	11.5	2.2	15.1	

出典：令和2年国勢調査

その他は、不動産業、学術研究専門技術サービス業、生活関連サービス娯楽業、複合サービス業、サービス業、分類不能の産業の計

2　経営耕地広狭別農業経営体数

（第7表-2）

区分 市町村名	農業経営体数（経営体）	経営耕地なし（経営体）	経営耕地広狭別経営体数（経営体）										1経営体当り平均農用地面積（ha）				備考
			0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1	1～1.5	1.5～2	2～3	3～5	5～10	10～20	20ha以上	田	畑	樹園地	草地	
			ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha					
東浦町	198	5	6	40	68	29	16	19	4	5	2	4	2.98	0.54	0.86	1.20	
比率(%)	100	2.5	3.0	20.2	34.4	14.7	8.1	9.6	2.0	2.5	1.0	2.0					

出典:2020年農林業センサス

3　主要家畜頭数

（第7表-3）

項目 市町村名	主要家畜								備考
	乳用牛		肉用牛		豚		家きん		
	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（100羽）	経営体数（経営体）	「x」…秘密保護上統計数値を公表しないもの。
東浦町	385	5	999	8	2,455	3	x	1	
100経営体当り数量（頭、100羽）	7,700		12,487.5		81,833.3		x		
飼養経営体数割合(%)	2.5		4.0		1.5		0.5		主要家畜経営体数/総経営体数×100

出典:2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第7表-4）

市町村名	東浦町	作付割合 (%)	備　　考
総耕地面積　　(ha)	493		
区分 作物名	作付面積 (ha)		
稲	219	59	作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積である。 「-」は、事実のないもの。 「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの。
麦類	13	4	
雑穀	x	―	
いも類	x	―	
豆類	16	4	
工芸農作物	x	―	
野菜類	13	4	
果樹類	36	10	
花き類・花木	x	―	
その他	72	19	
計	369	100	

出典:2020年農林業センサス

５　農業の動向

（第7表-5）

項目／区分	農業経営体			土地			主要作物			主要家畜			地域指定等	備　　考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況（C年を一〇〇とする指数）	農業経営体数	87	66	耕地	98	90	水稲	98	68	乳用牛	59	46	農業振興地域指定 昭和47年12月 東浦町 野菜指定産地 冬キャベツ たまねぎ 冬レタス	A…令和2年 2020年農林業センサス B…平成27年 2015年農林業センサス C…平成22年 2010年農林業センサス
	個人経営体数	87	64	田	28	89	野菜類	X	5	肉用牛	X	202		
	団体経営体(法人)数	167	333	普通畑	314	97	花き類・花木	1	1	豚	X	63		
	団体経営体(非法人)数	86	63	樹園地	296	69				採卵鶏	－	－		
変化の理由	担い手への利用集積による小規模農家の離農や農業従事者の高齢化等により、農業経営体数は全体的に減少傾向である。 団体経営体(法人)数は10年で約3倍に増加している。(3→5→10)			農業経営体や農地の減少により、地目別の耕地面積も減少傾向である。 普通畑の作付面積は 2010年: 64ha 2015年: 201ha 2020年: 62ha と2015年の面積上昇と2020年の減少がみられる。			農業経営体や農地の減少により、主要作物の作付も減少傾向である。 花きの作付面積は 2010年:270ha 2015年: 2ha 2020年: 1ha と著しい減少がみられる。			乳用牛の飼養頭数は減少傾向にある。 肉用牛と豚の2015年センサスデータは秘密保持より不明であるが、肉用牛の飼養頭数が増加している。				

出典:2010年農林業センサス、2015年農林業センサス、2020年農林業センサス

「-」は秘密保持及び調査項目の除外により統計数値がないため動向が考察できない項目

「ｘ」は 統計数値が公 表されていないために動向を考察できない項目

第６節　　地域環境の概況

本地区は、東浦町の南東部に位置する農業用ため池であり、かんがい受益は平均勾配1/11.5程度の水田が主体となる地帯である。

気象は、年平均気温16.4℃程度、年間降水量は1501㎜程度で降雪は少ない。

本町は市街化区域が3割を占めている。生産緑地及び都市公園が整備されており、農地や社寺林に代表される樹林地など身近な自然に恵まれている。

1　特に配慮すべき生物環境

令和5年9月15、19日に泉ヶ池の生物調査を実施した結果、特出すべき希少種の生息が確認されなかった。
以下に泉ヶ池で生息の確認された主な種を示す。

魚　類：コイ、モツゴ
鳥　類：カイツブリ、キジバト、チョウゲンボウ、ハシボソガラス等　12種
昆虫類：クモヘリカメムシ、オナガササキリ、ツチイナゴ、アゲハ、ギンヤンマ、ヤマトアシナガバチ、キタキチョウ、カネタタキ始め104種
植　物：クズ、アキノエノコログサ、ネザサ、ムクノキ、チガヤ、ノブドウ、ヤブガラシ、ヒガンバナ、ハマスゲ始め90種
その他：アカミミガメ、スジエビ

2　特に配慮すべき生物以外のもの(景観・文化財他)

本事業実施により特に配慮すべき景観・文化財はないが、東浦町田園環境整備マスタープランに記載されている景観・文化財を以下に示す。

石ヶ瀬川、岡田川、須賀川、明徳寺川、高根の森、飛山池、藤仙坊等
極楽寺の楠、伊久智神社大楠の森等

第４章　一般計画

第１節　　事業計画の要旨

１　要旨

本池は、地域の農業用水源として重要な役割を果たしている。

しかし、堤体の耐震性、洪水吐の流下能力が不足しており、緊急放流能力も有していない。このため、地震時における堤体の破壊に対応するため、堤体の耐震対策を行い、豪雨時においてため池に流入する洪水を安全に流下させるための洪水吐の改修、緊急放流施設の設置を実施することで、地震や豪雨によってため池が決壊した場合の農地、農作物、農業用施設、家屋等への被害を未然に防止する。

２　事業別面積

（第8表）

事業名	防災ダム事業						その他						計
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	(ha)
地震・豪雨対策	4.6	－	－	－	－	4.6	－	－	－	－	－	－	4.6

第２節　　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

地震及び豪雨時のため池決壊による洪水被害を未然に防止することで、農業経営の安定を図る。

２　土地利用区分

（第9表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
防災ダム事業	現況・計画	4.6	－	－	－	－	－	4.6	－	－	－	4.6	

３　作付け方式

該当なし

４　生産計画

該当なし

５　労働改善計画

該当なし

６　級地別土地利用区分

該当なし

７　土地配分計画

該当なし

第３節　用水計画

該当なし

第４節　排水計画

該当なし

第５節　道路計画

該当なし

第６節　農用地造成計画

該当なし

第７節　洪水調整計画

該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

第９節　農用地整備計画

該当なし

第10節　　老朽ため池改修計画

１　堤体補強計画
　　堤体下流側に耐震対策を行う。

２　洪水吐改修計画
　　豪雨時において、ため池に流入する洪水を安全に流下させる規模の洪水吐改修を行う。
（１）計画基準雨量　　96.1mm/hr　（本池を管轄する気象台に200年諸元データがないため、100年確率）
（２）計画洪水量　　4.67m3/s

３　緊急放流施設新設計画
　　洪水吐に隣接する形で、緊急放流施設（φ200mm×1門スライドゲート）を新設する。　緊急放流先は洪水吐とする。

第５章　主要工事計画

第１節　　用水施設
該当なし

第２節　　排水施設
該当なし

第３節　　道路及び索道
該当なし

第４節　　農用地造成
該当なし

第５節　　洪水調整施設
該当なし

第６節　　干拓施設

該当なし

第７節　　農用地整備施設

該当なし

第８節　　老朽ため池改修施設

１　貯水池

（第24表）

<table>
<tr><td>名称</td><td colspan="4">泉ヶ池</td><td>位置</td><td colspan="4">知多郡東浦町大字生路</td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤体</td><td>型式</td><td>流域
(km²)</td><td>堤高
(m)</td><td>堤長
(m)</td><td>堤体積
(千m³)</td><td>堤頂幅
(m)</td><td>貯水量
(千m³)</td><td colspan="2">備　　考</td></tr>
<tr><td>傾斜遮水ゾーン型</td><td>0.108</td><td>7.45</td><td>57.0</td><td>7.3</td><td>3.9</td><td>11.6</td><td colspan="2">下流側：堤体断面改修　L=24.8m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪水吐</td><td>型式</td><td>洪水量
(m³/s)</td><td>規模
(m)</td><td>備考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td colspan="2">型式</td><td>取水量
(m³/s)</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td>正面越流型</td><td>4.67</td><td>堰幅3.4m（既設）
堰幅3.1m（新設）</td><td></td><td colspan="2">取水孔　φ200mm×2孔
斜樋管　φ300mm×1本
底樋管　φ600mm×1本</td><td>0.009</td><td>既設利用
緊急放流工は、洪水吐に設置</td></tr>
<tr><td rowspan="2">緊急放流施設</td><td colspan="2">型式</td><td>放流量
(m³/s)</td><td>備考</td></tr>
<tr><td colspan="2">φ200mm×1門</td><td>0.063</td><td>ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ</td></tr>
</table>

２　堤体補強施設

（１）地震対策工

堤体下流側に堤体断面改修（押盛土工法）を行う。

（２）法面保護施設

堤体上流側は張ブロック、下流側は張芝（洪水吐改修に伴う現況施設復旧）を行う。

３　洪水吐

豪雨時において、ため池に流入する洪水を安全に流下させる規模の洪水吐改修を行う。

４　緊急放流施設（新設計画）

洪水吐に隣接する形で、緊急放流施設（φ200mm×1門スライドゲート）を新設する。　緊急放流先は洪水吐とする。

第６章　附帯工事計画

該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

・　工期　　着　　手　　令和8年度
　　完了予定　　令和11年度　（予定）

・　工事の年度割予定

工種＼年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
設計・測量	■				
仮設工		■			
堤体工			■	■	
緊急放流工			■		
洪水吐工				■	

第８章　環境との調和への配慮

・　配慮の対象

本地区は、東浦町田園環境整備マスタープランにおいて、環境創造区域となっている。

令和5年9月15日、19日に泉ヶ池の生物調査を実施した結果、特出すべき希少種の生息が確認されなかったが、工事実施に際しては以下の配慮を行う。

・　配慮の方法

・汚水・濁水の適切な処理を行い、水生生物の生息環境への配慮を行う。（影響の軽減／除去）

第９章　管理の要領

県営防災ダム事業により造成された土地改良施設は、東浦町が管理する。

第10章　換地計画の概要

該当なし

第11章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分＼事業名		防災ダム事業（千円）	備　　考
事業費　※1		261,000	
事務的経費　※2		16,200	
計		277,200	
（参考）関連事業	―		
	―		

令和7年度単価（消費税については10%にて算定。但し、物価変動により将来変動することがある。）

※1)事業費とは、土地改良事業費に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2)事務的経費とは、昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章　効　　用

（第27表）

事業名	区分＼項目	年総効果（便益）額（千円）	年総増加農業所得額（千円）	うち機能向上分	備　　考
防災ダム事業	災害防止効果(農業関係資産)	12,083	－	－	
	災害防止効果(一般資産)	222,392	－	－	
	災害防止効果(公共資産)	－	－	－	
	維持管理費節減効果	△ 41	－	－	
	計	234,434	－	－	

令和7年度単価

＜参考＞

① 当該事業による費用：230,073 千円
② その他費用：229,333 千円
(関連事業費+資産価格+再整備費)
③ 総費用(現在価値化)：459,406 千円
④ 年償還額：0 千円/年
④' うち機能向上分：0 千円/年
⑤ 年総効果(便益)額：234,434 千円/年
⑥ 現況年総農業所得額：1,319 千円/年
⑦ 年総増加農業所得額：－ 千円/年
評価期間：44 年
(当該事業の工事期間+40年)
割引率：0.04
⑧ 総便益額(現在価値化) 3,966,226 千円
⑨ 総費用総便益比：8.63 ≧1.0
(⑧ ÷ ③)
⑩ 総所得償還率 － ≦0.2
(④ ÷ ⑥)
⑪ 増加所得償還率：－ ≦0.4
(④' ÷ ⑦)

第13章　関連する事業

該当なし

第14章　現況・計画平面図

1　概要図　　別添のとおり
2　計画平面図　　別添のとおり
3　主要構造図　　別添のとおり

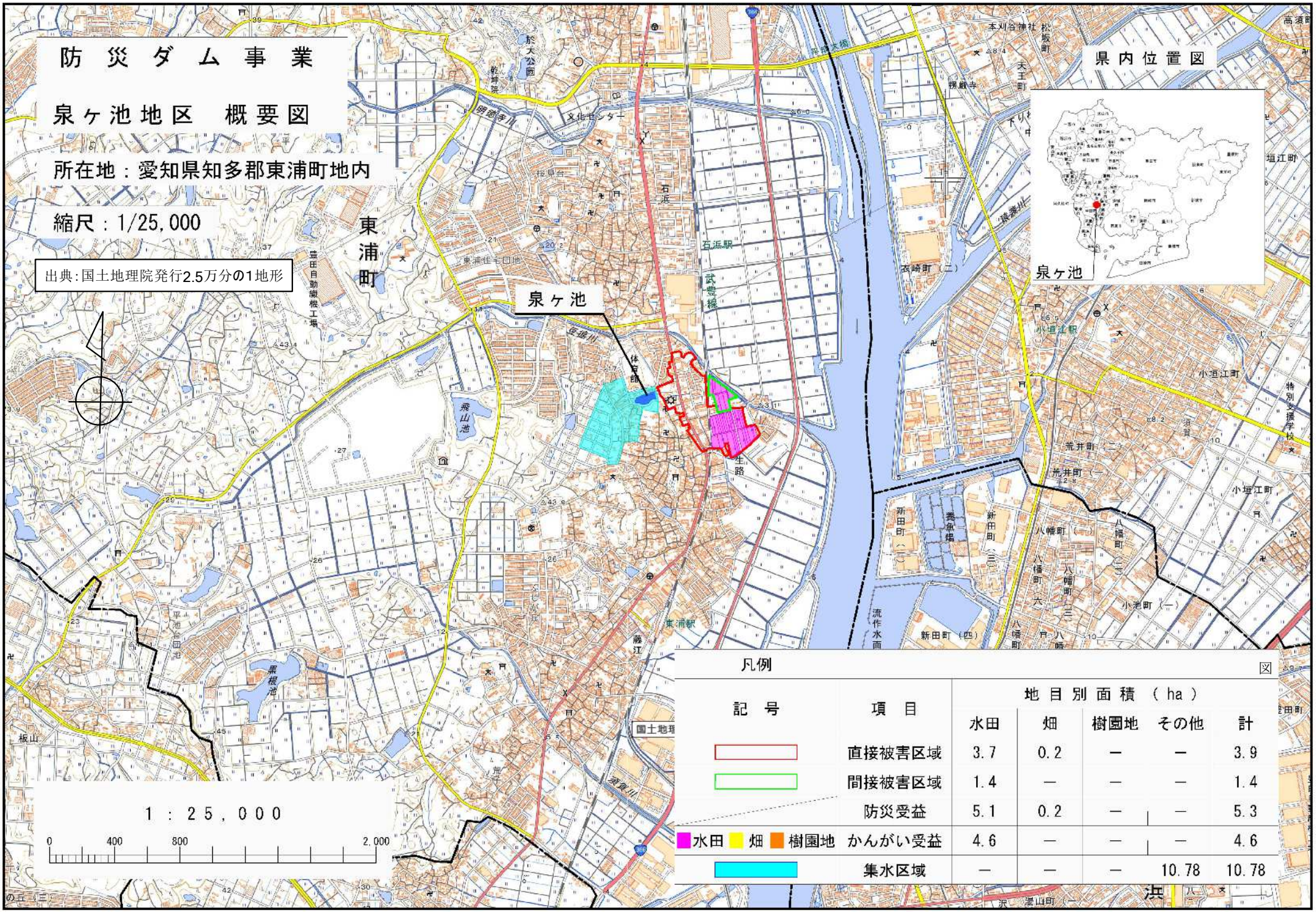
防　災　ダ　ム　事　業

泉ヶ池地区　概要図

所在地：愛知県知多郡東浦町地内

縮尺：1/25,000

出典:国土地理院発行2.5万分の1地形

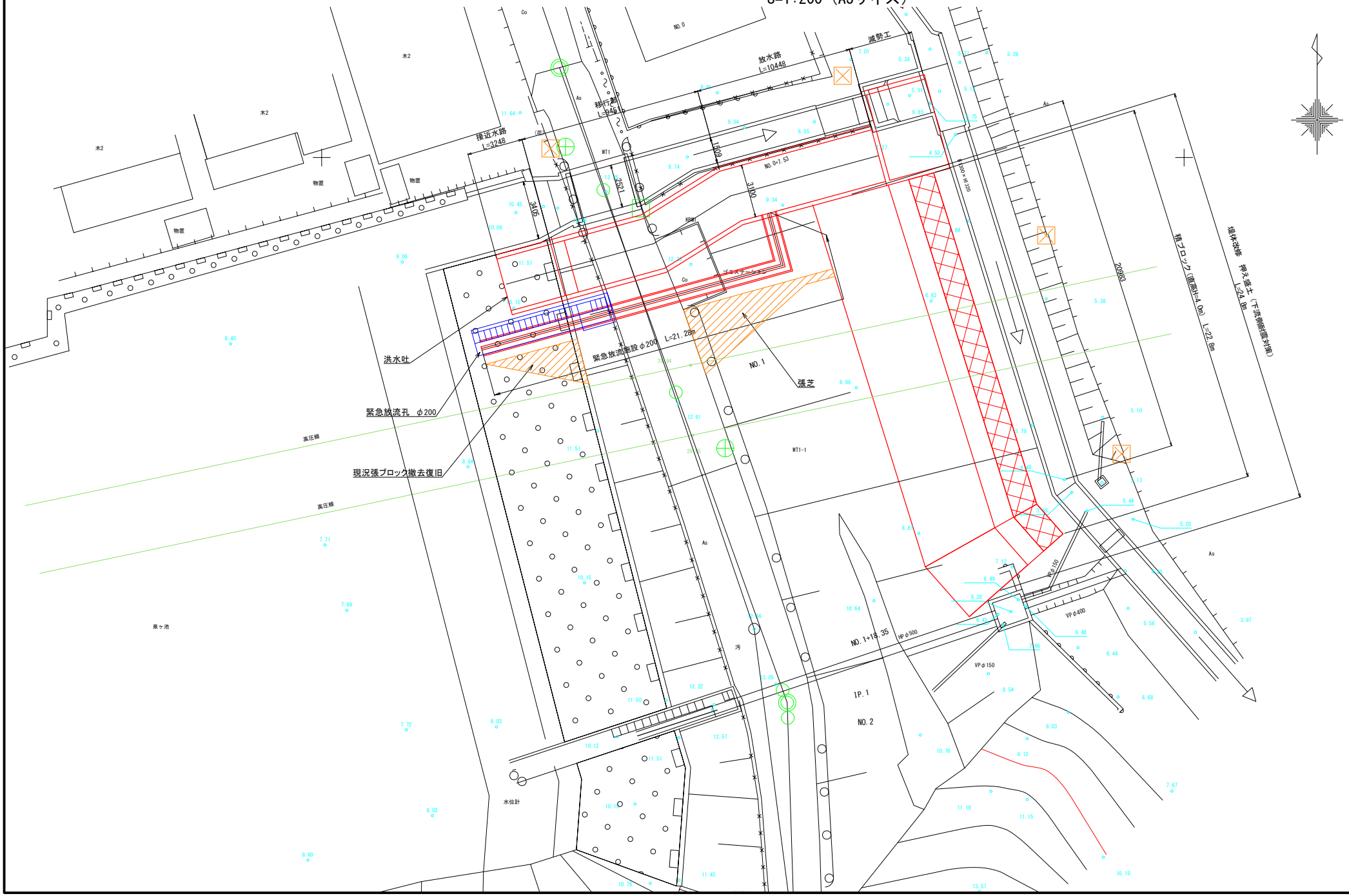


凡例

記号	項目	地目別面積（ha） 水田	畑	樹園地	その他	計
	直接被害区域	3.7	0.2	—	—	3.9
	間接被害区域	1.4	—	—	—	1.4
	防災受益	5.1	0.2	—	—	5.3
水田 畑 樹園地	かんがい受益	4.6	—	—	—	4.6
	集水区域	—	—	—	10.78	10.78

泉ヶ池　計画平面図

S=1:200（A3サイズ）

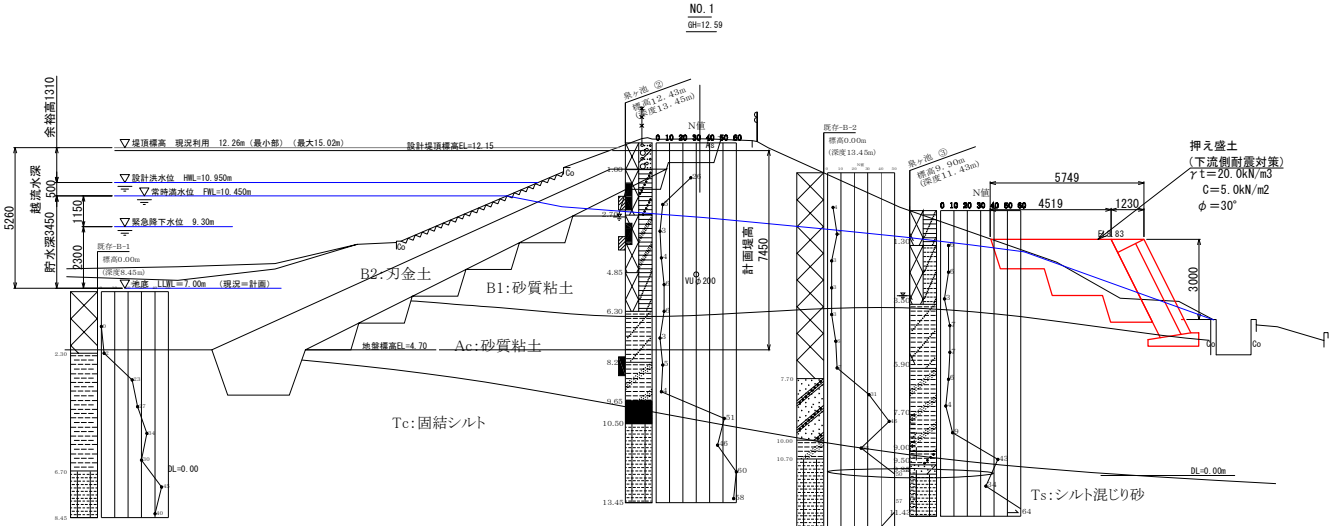


泉ヶ池　堤体計画図

（押さえ盛土工法）

標準断面図

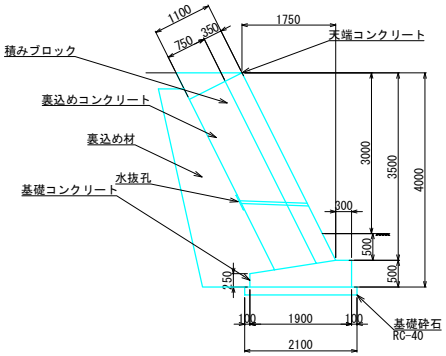
S=1:200（A3サイズ）



積みブロック標準断面

S=1:100（A3サイズ）

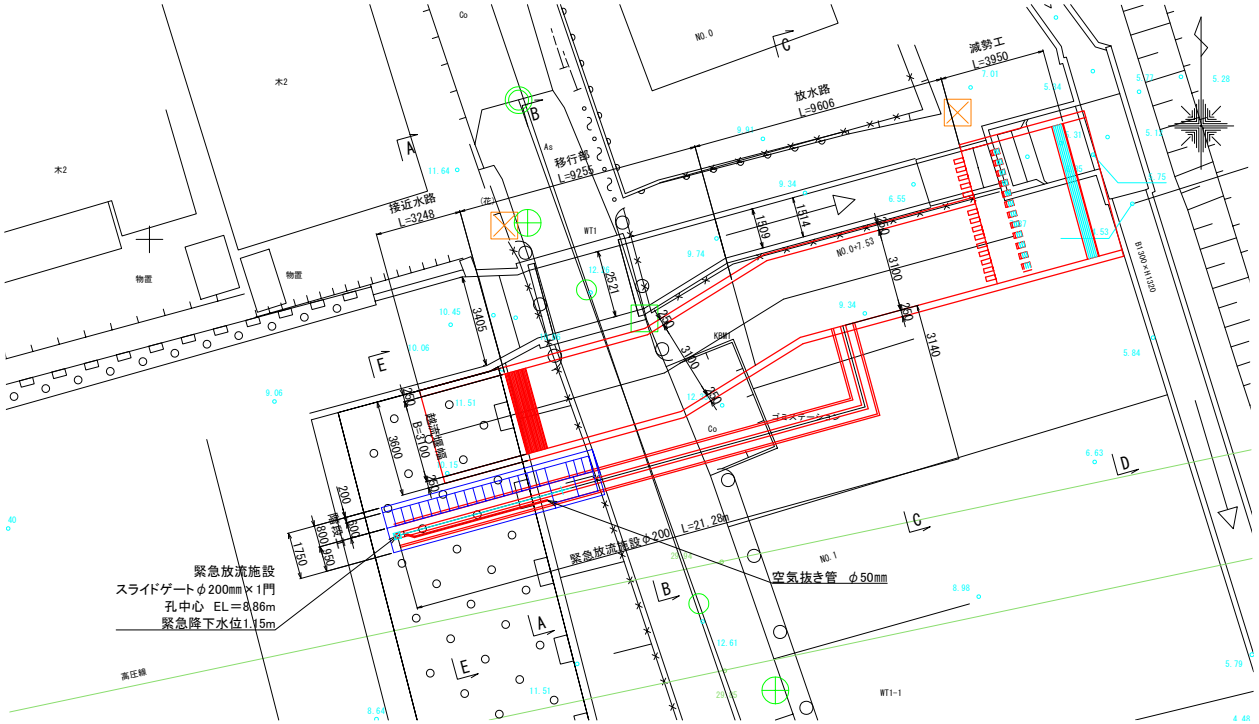
直高　H=4.0m



泉ヶ池　洪水吐計画図(1/2)

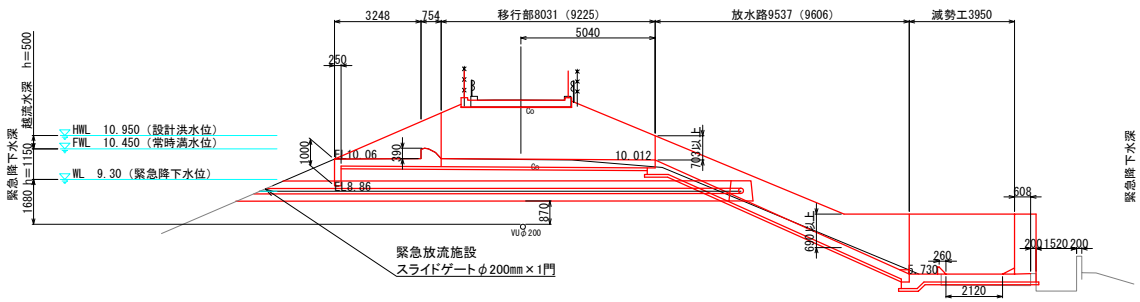
洪水吐平面図

S=1:100



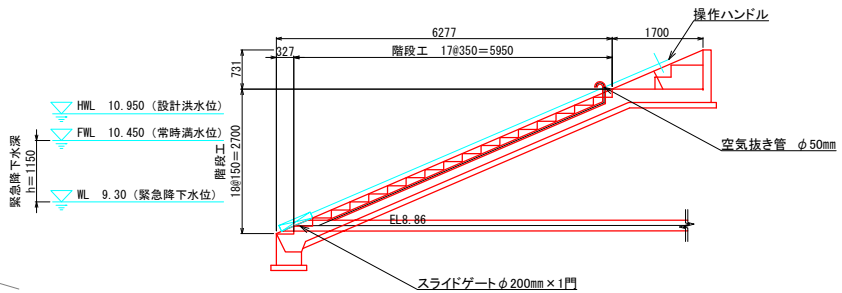
洪水吐縦断図

S=1:100



緊急放流工縦断図

S=1：50

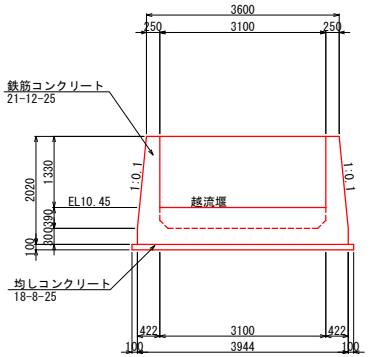


泉ヶ池　洪水吐計画図(2/2)

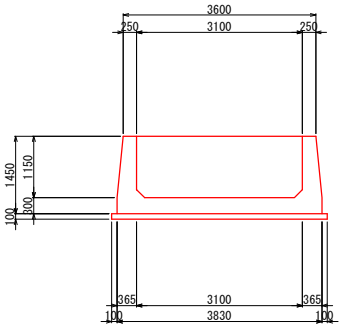
洪水吐施設構造図

S=1:50

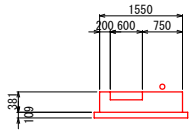
A － A断面図



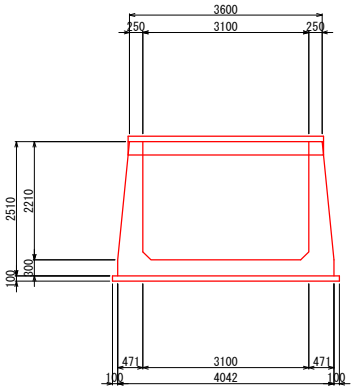
C － C断面図



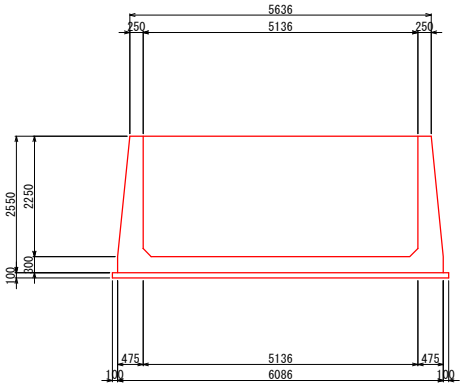
E － E断面図



B － B断面図

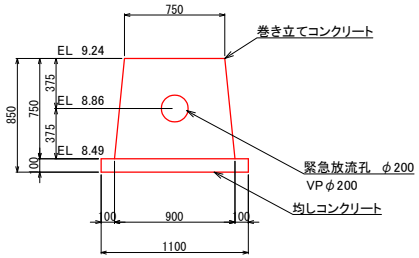


D － D断面図



緊急放流孔標準断面図

S=1:20



別紙

土地改良法第８７条の４第２項の規定により協議すべき事項

（県営防災ダム事業 泉ヶ池地区）

Ⅰ.県営土地改良事業によって造成される施設の予定管理方法

（別紙１）

Ⅱ.県営土地改良事業（泉ヶ池地区）における事業費及び事務的経費の負担区分の予定並びに地元負担の予定基準

（別紙２）

別紙１

Ⅰ．　県営土地改良事業によって造成される土地改良施設の予定管理方法

１．管理者
東浦町

２．管理すべき施設の種類
ため池及びこれに附帯する施設

３．貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項
管理者の定める規程による

４．管理に要する費用の概算及び負担方法
（１）費用の概算
年間管理費　　75千円

（２）費用の負担方法
必要経費は、管理者の定める規程により負担する。

５．その他管理方法に関する基本事項
管理者が別に定める管理規程による。

別紙２

Ⅱ．　県営土地改良事業（泉ヶ池地区）における事業費及び事務的経費の負担区分の予定並びに地元負担の予定基準

１．事業に要する費用　　277,200千円
事　業　費 ※1)　　261,000千円
事務的経費 ※2)　　16,200千円
（令和７年度単価。消費税については10％で算定。ただし、物価変動により将来変動することがあります。）
※1）事業費とは事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。
※2）事務的経費とは昭和48年７月23日付け48構改D第609号（設）農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費、工事雑費。

２．負担区分の割合　　（単位：％）

事業の種類	国庫負担	県負担	市町村負担	地元負担	備考
事業費	50	34	16	－	
事務的経費	－	100	－	－	

（注）国、県が負担する金額以外の負担金は、東浦町が全額負担する。

３．土地改良法第91条の規定による負担金の納入方法
本事業の施行に係る地域の東浦町は、土地改良法（昭和24年法律第195号）第91条第６項の規定により、本事業によって受ける利益を限度として、これに相当する金額を愛知県に対し負担する。

４．地元負担の予定基準
該当なし